

ポストコロナ社会に向けて 兵庫からの挑戦

R2. 4. 27 兵庫県

阪神・淡路大震災から 25 年、本県は新しい地域づくりのステージを迎えています。

こうした中、新型コロナウイルスが世界的に流行し、日本も感染拡大防止をはじめ様々な対策に官民を挙げて懸命に取り組んでいますが、未だ収束の兆しは見えません。

この未曾有の事態は、私たちの社会に多くの課題を突きつけています。働き方や暮らし方、過度な都市集中、産業構造や経済活動のあり方を見直さなければなりません。

そこで、現在全力を挙げているコロナ対策を最優先で継続しつつ、新たな社会づくりの取組を企業、大学、団体をはじめ県民の英知を結集して展開したいと考えています。

震災からの創造的復興を成し遂げた兵庫から、コロナ危機に打ち勝ち、コロナ後の新しい社会を創造する。その一歩を踏み出します。県内外からの前向きな提案をお待ちしています。

<具体的な取組>

1 コロナ対策の社会貢献事例とアイデアの提案募集

(1) 社会貢献事例の情報募集

- ・コロナ危機の克服に向けた社会貢献の輪を拓げるため、企業、大学、団体等の取組事例（検討中のものも可）の情報を募り、広く発信するとともに普及を促進

(2) 新たな取組のアイデア募集

- ・企業、大学、団体等からコロナ危機を乗り越えるための新技術の実装、仕組みの構築等の新たな取組のアイデアを募り、提案者との官民共同プロジェクトとして推進

【県内企業等による取組例】

- ・国内初の新型コロナウイルス検査キットの開発・提供（シスメックス）
- ・次世代スパコン「富岳」による新型コロナウイルスの治療薬候補同定等の研究開発（理研）
- ・SPRING-8 のビームラインを利用した創薬開発支援（高輝度光科学研究センター）
- ・看護学研究科の学生によるコールセンター業務の応援（兵庫県立大学）
- ・外出制限されている子どもたちに向けた動画配信（ヴィッセル神戸）

2 ポストコロナ社会の提案募集

- ・研究者をはじめ広く県民からコロナ収束後に実現したい社会の姿、その実現に向けた方向性と具体的な取組の提案を募り、提案者との官民共同プロジェクトとして推進
[対象者] 研究者、企業・事業者、学生、地域団体、NPO ほか広く県民の皆様
[キーワード例] デジタル化（テレワーク、オンライン教育、遠隔医療等）
集中是正（人口、都市機能等） リスク管理（医療体制、事業継続等）
自立持続（食、エネルギー等） グローバル化（人とモノの移動等） など

【SARS 流行時の例】

- ・2003 年の SARS 流行の際、中国ではネット取引が急増し、アリババ等の IT 企業が台頭。世界有数のデジタル先進国へ移行する転換期となった。

3 ポストコロナ社会を拓く県の取組

(1) 兵庫 2030 年の展望リーディングプロジェクトの拡充

- ・16 プロジェクトのそれぞれにコロナ克服の見地から必要な取組を追加
追加例) 価値創造人材育成→「オンライン教育の普及策」
在宅強化・健康寿命延伸→「オンライン診療の普及策」
次世代移動・買い物支援→「一人乗り小型モビリティの普及策」

(2) ポストコロナ社会のあり方研究

- ・兵庫県の新しい将来ビジョンの検討の一環と位置付けて、コロナ収束後の社会のあり方を研究（研究の成果は現在検討中の新しい将来ビジョンにも反映）

<検討の進め方>

- ・コロナ危機で顕わになった社会の脆弱性を様々な角度から整理
- ・この危機に対処しようとする様々な動きから社会が変わる兆しを抽出
- ・めざす社会像とその具体的な道筋を提言として取りまとめ

[連絡先] 企画県民部ビジョン局ビジョン課 vision@pref.hyogo.lg.jp